

京都府立京都八幡高等学校 外国語科 令和5年度 CAN-DO リスト

【高校卒業時の学習到達目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けた生徒を育成する。

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。

CEFR (目安)		聞くこと (Listening)	読むこと (Reading)	話すこと (Speaking)		書くこと (Writing)
ステージ				やり取り (Interaction)	発表 (Production)	
B1-1	高3	(ア) 自然な発話に近い速度で話され、比較的長めの日常的な話題について、必要な情報を目的に応じて整理しながら聞き取り、話の展開や話し手の意図を的確に把握することができる。 (イ) 自然な発話に近い速度で話され、比較的長めの日常的な話題について、必要な情報を目的に応じて整理しながら聞き取り、話の概要や要点、詳細を的確に把握することができる。	(ア) 日常的な話題を扱った、比較的長めで複雑な文章について、必要な情報を目的に応じて整理しながら読み取り、文章の展開や書き手の意図を的確に把握することができる。 (イ) 社会的な話題を扱った、比較的長めで複雑な文章について、必要な情報を目的に応じて整理しながら読み取り、文章の概要や要点、詳細を的確に把握することができる。	(ア) 日常的な話題について、多様な表現を目的や場面、状況などに応じて適切に使用し、自身の考えや情報などを整理して相手に伝え、会話を発展させることができる。 (イ) 社会的な話題について、多様な表現を目的や場面、状況などに応じて適切に使用し、自身の考えや情報などを、詳細な理由や根拠とともに、詳しく話して伝え合うことができる。	日常的な話題や社会的な話題について多様な表現を目的や場面、状況などに応じて適切に使用し、自身の考えや情報などを詳細な理由や根拠とともに、効果的に話して伝えることができる。	(ア) 日常的な話題について、自身の考えや情報などを、詳細な理由や根拠とともに、複数の段落から成る文章を詳しく書いて伝えることができる。 (イ) 社会的な話題について、自身の考えや情報などを、詳細な理由や根拠とともに、複数の段落から成る文章を詳しく書いて伝えることができる。
A2-2	高2	(ア) 必要に応じて調整された速度で、やや長めの日常的な話題について、必要な情報を整理しながら聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができる。 (イ) 必要に応じて調整された速度で、やや長めの社会的な話題について、必要な情報を整理しながら聞き取り、話の概要や要点、詳細を把握することができる。	(ア) 日常的な話題を扱った、やや長めで複雑な文章について、必要な情報を整理しながら読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。 (イ) 社会的な話題を扱った、やや長めで複雑な文章について、必要な情報を整理しながら読み取り、文章の概要や要点、詳細を把握することができる。	(ア) 日常的な話題について、多様な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを詳しく話して伝え合うことができる。 (イ) 社会的な話題について、多様な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを、理由や根拠とともに、詳しく話して伝え合うことができる。	(ア) 日常的な話題について、多様な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを理由や根拠とともに、効果的に話して伝えることができる。 (イ) 社会的な話題について、多様な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを理由や根拠とともに、効果的に話して伝えることができる。	(ア) 日常的な話題について、自身の考えや情報などを理由や根拠とともに複数の段落から成る文章を書いて伝えることができる。 (イ) 社会的な話題について、自身の考えや情報などを理由や根拠とともに複数の段落から成る文章を書いて伝えることができる。
A2-1	高1	(ア) 速度が適度に調整された比較的短めの日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。 (イ) 速度が適度に調整された比較的短めの社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話の概要や要点を把握することができる。	(ア) 日常的な話題を扱った、比較的短めで平易な文章について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。 (イ) 社会的な話題を扱った、比較的短めで平易な文章について、必要な情報を読み取り、文章の概要や要点を把握することができる。	(ア) 日常的な話題について、基本的な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを話して伝え合うことができる。 (イ) 社会的な話題について、基本的な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを、簡潔な理由や根拠とともに、伝え合うことができる。	(ア) 日常的な話題について、基本的な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを簡潔な理由や根拠とともに話して伝えることができる。 (イ) 社会的な話題について、基本的な表現を適切に使用し、自身の考えや情報などを簡潔な理由や根拠とともに話して伝えることができる。	(ア) 日常的な話題について、自身の考えや情報などを簡潔な理由や根拠とともに、段落を用いて書いて伝えることができる。 (イ) 社会的な話題について、自身の考えや情報などを簡潔な理由や根拠とともに、段落を用いて書いて伝えることができる。